

## 第 2 音戸大橋開通に伴う影響について

### 1 趣旨

来年春の第 2 音戸大橋開通に伴い、旅客航路事業への影響が予想されるため、今後の対応について検討する。

### 2 広島県の影響予測調査

#### (1) 調査日

平成 22 年 6 月 16 日 (水)

#### (2) 調査日の車両・徒歩客

車両航送客 777 台 徒歩客 6,769 人

#### (3) 残存輸送率

航路名	航種	車両割合	人員割合
宇品～切串	フェリー	95.8%	98.0%
宇品～小用	旅客船		97.0%
宇品～三高	フェリー	109.0%	97.9%
宇品～中町	旅客船		109.7%
呉～小用	フェリー	82.0%	95.9%
	旅客船		94.7%
呉～秋月	旅客船		89.2%
呉泊～切串	フェリー	94.0%	91.1%

※ 年次・季節変動等については考慮していません。

### 3 今後の対応 (案)

#### (1) 事業者間の情報共有

開通後の乗降人員・車両の落込想定数

対応策の情報交換

#### (2) 協議会の設立

第 2 音戸大橋開通に伴う影響は、広島市・呉市・江田島市への広域にわたる影響があることから、県に対して関係航路の今後の在り方についての協議会の設立を呼び掛ける。

8 月 9 日開催された海上分科会で設立要望書提出の提案がされました。

#### (3) その他

第 2 音戸大橋開通に伴い乗降人員・車両が減少することから、県の生活航路維持確保対策事業補助金の再編・統合及び航路距離等の要件緩和・補助の拡充等について、今後も要望を行う。

12 月操業が開始予定のユーシン天応工場 (従業員 1,000 人程度) への江田島市居住のアプローチが必要という海上分科会での意見がありました。